

合 所 ダ ム

合所ダムは、昭和55年度から平成5年度にかけて国営耳納山麓農業水利事業により、一級河川筑後川水系隈上川の福岡県うきは市浮羽町小塩地先に、農林水産省が多目的ダムとして建設した傾斜遮水ゾーン型ロックフィルダム。



【ダムの諸元】

位 置	左岸：福岡県うきは市浮羽町大字小塩字仏山 右岸：福岡県うきは市浮羽町大字小塩字合所			
河 川 名	一級河川筑後川水系隈上川支流新川			
ダム型式	傾斜遮水ゾーン型ロックフィルダム		目 的	農水、上水
堤 高	60.7 m	総貯水量	7,660 千m ³	
堤 長	270.0 m	有効貯水量	6,700 千m ³	
堤 頂 幅	10.0 m	流域面積	42.0 km ²	
堤 体 積	1,318 千m ³	満水面積	0.38 km ²	

警 報 設 備

合所ダム警報局及び警報用掲示板位置図



警 報 局



ダムの放流による川の増水をあらかじめ知らせるための施設です。ダム下流の河川沿いに6箇所の放流警報局を設置しています。

警 報 用 掲 示 板



河川利用者にダムからの放流警報を知らせるための警報看板で、ダム下流の河川沿いに9箇所設置しています。

警 報 車



ダムからの放流による増水を、川を利用している人たちへ警報車により避難の呼びかけを行います。